

【大切なお知らせ】

4月より小児科「一般外来」は 午前のみになります



小児科では南房総地域の小児医療基幹施設として、救急医療や入院診療、各専門外来により力を注ぐため、2020年4月より**午後外来は予約制の各専門外来・健診・予防接種のみ**とすることにいたします。

《《変更に伴うお願い》》

1.当院にはできるだけ午前の一般外来を受診ください。午後であれば、まずは近隣の病院ないし医院を受診してください。発熱や腹痛などの急な症状で当院を受診の際は**午前一般外来へ**お越しください。それ以外の時間帯はすべて救急外来での対応となります。**救急外来は保護者の方が「急いで診察を受ける必要が**

ある」と判断される場合に受診願います。

2.救急外来は緊急対応を主な目的としています。緊急度の高い患者さまから優先的に診療を行うため、救急外来全体の状況に応じて診察順番や待ち時間が変わる場合があります。また、薬の処方日数が短く、薬剤師の指導がありません。

3.すぐに救急外来を受診すべきか判断に迷う場合は、「教えて！ドク



ター」アプリ等を参考にしてください。判断がつかない場合は受診してください。

ご家庭に小さなお子さまのいる皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

新春コンサートのご案内



1月25日(土)午後3時から
亀田総合病院Kタワー1階ロビーにて、ベルアンサンブル「エーデルワイス」の皆様による『新春Kタワーロビーコンサート』を開催いたします。

コンサートでは、「エーデルワイス」「いつも何度でも」「聖者の行進」「主よ、人の望みの喜びよ」「アメージンググレイス」「ライムライト」など、一度は耳にしたことのある曲などを中心に全9曲を演奏いただく予定です。どうぞ、ハンドベルの美しい響きをお楽しみください。

お願い 入院中の履き物について

入院中は慣れない環境、あるいは活動の減少にとともに、足の筋力が低下して転倒してしまう患者さまが多くいらっしゃいます。

そのため、入院中の履き物は普段から履き慣れた運動靴など、かかとつきのものをご用意くださいますようお願いいたします。なお、スリッパやサンダルは脱げやすく、摩擦が強いとつまづきやすいため、当院では禁止とさせていただきます。

入院中の転倒を防止するため、ご理解とご協力をお願いいたします。



ノロウイルス等による 「感染性胃腸炎」にご注意ください

例年冬場に、保育所や幼稚園、高齢者施設などを中心に腹痛、下痢、嘔吐を主な症状とする「感染性胃腸炎」の集団感染が多数報告されています。



通常3日程度で症状は回復しますが、子供や高齢者など抵抗力の弱い方や乳幼児では重症化する場合があります。感染経路としては、ウイルスを内臓に取り込んだカキなどの二枚貝を、生あるいは加熱不十分なまま食べて感染する場合や、ノロウイルスに感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合などの感染があります。

■食品はよく加熱し、調理や食事の前には手洗いを

・ノロウイルスはカキなどの二枚貝に潜んでいることがあります。調理する際は、中心部まで十分に加熱しましょう(中心温度85～90℃で少なくとも90秒間の加熱が必要です)

・こまめな手洗いを習慣づけましょう。特にトイレの後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう

■患者の便や吐物の処理に気をつけましょう

・便や吐物を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)を使用しましょう。処理をした後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう

リンパ浮腫治療

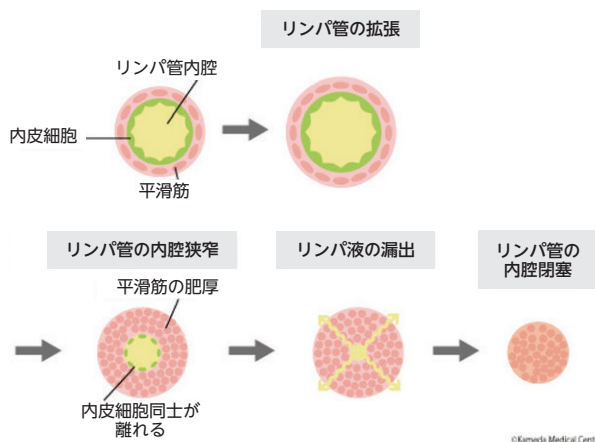
リンパ浮腫外来 林 明辰



第5話 リンパ浮腫に対する外科的治療②

リンパ浮腫の治療において、リンパ管の変性が進みリンパ浮腫が増悪している症例に対しては、保存的治療に外科治療を併用することで、リンパ浮腫の症状軽減、増悪速度の鈍化、蜂窩織炎(感染)の軽減が期待できることが分かっています。

今回は、外科治療の中でも最も低侵襲な方法である「リンパ管静脈吻合術」についてお話ししました。この手技は、下図上段のような変性が中等度以下で狭窄の程度が低いリンパ管が多く残っていれば手術の効果は高くなる一方で、下図下段のような変性が進み狭窄・閉塞しているリンパ管が大多数を占めるような症例では手術の効果は低くなる、あるいはほぼ効果が出ないということになります。



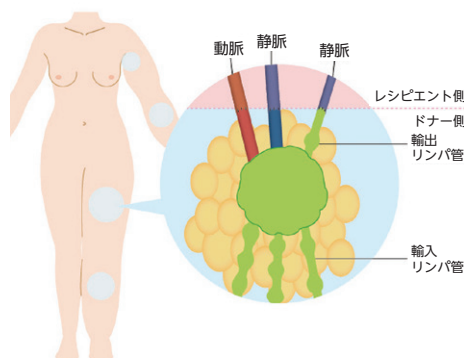
そのようなリンパ管の変性が進んでしまっているリンパ浮腫の症例に対しては、「**リンパ節移植術**」という方法があります。

リンパ節移植術

リンパ節移植術では、まず、健常部位(鎖骨周囲、側胸部、鼠径部など)にあるリンパ節とその周囲の脂肪組織を、そ

れを栄養する血管と一緒に採取してきます。

次に、採取したリンパ節とその周囲組織(ドナー側)を、高度なリンパ管変性が認められるリン



© Kameda Medical Center

パ浮腫の部位(レシピエント側)に移植し、リンパ節を栄養する血管(動脈・静脈)と移植床の血管を顕微鏡下で吻合します。また、この際、移植するリンパ節の輸出リンパ管を同定できればレシピエント側の静脈と吻合します。

リンパ節移植がリンパ浮腫に対して効果をもつメカニズムとしては、下記のようなことがあげられます。

- ・リンパ節自体にリンパ液を回収し流すポンプ作用があり、同時にリンパ節の中には生理的な『リンパ管-静脈吻合』があるため、これらの機能を介してうっ滞したリンパ液が排出されるようになる。
- ・移植したリンパ節からリンパ管新生因子が放出されるため、新たなリンパ流路が形成されリンパ液のうっ滞が改善する。

リンパ管静脈吻合術同様、術後に周径の減少や蜂窩織炎の減少、主観的症状(重たさ、しびれ、痛みなど)の改善が期待できる一方で、リンパ管静脈吻合術と比較しやや侵襲的な手術であること、効果が出るまでに時間がかかる(半年~1年以上)という点に注意しなければなりません。また、リンパ浮腫の悪化に伴いすでに増生してしまった脂肪をこの術式で減少させることは困難であり、増生した脂肪を除去するためには「脂肪吸引術」という方法が別に必要になることにも注意が必要です。

「リンパ浮腫外来」では、がんの手術後の上肢、下肢のしびれやむくみを感じている患者さまを対象に、**リンパ浮腫専門外来の医師が、リンパ浮腫の予防や治療の相談を行っています。**予約センター: 04-7099-1111(亀田クリニック)

医師紹介

はやし とくまさ
林 篤正 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①ウロギネ科
- ②泌尿器科学
- ③登山・釣り
- ④真心を尽くす医療を第一にしています



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>